



元気とタイムリーな情報を提供する

# 五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 平成29年09月18日 第836号「週刊五十嵐レポート」

## 無知の知

論語の中で、孔子は、「知っていることは知っている、知らないことは知らない」と素直に言えるのが、本当に知っていることだ」と言っている。

またソクラテスは、「自分の無知を自覚することが真の知にいたる出発点である」と言っている。

「戦略社長塾」小岩校にて学んでいるある会社の後継者A氏の話。A氏は、非同族人で従業員から後継者にと白羽の矢が立った。

全7回の「財務戦略」が終了した。テキストに、「中小企業の1人当たりの年間純利益はいくらぐらいかと従業員にアンケートをとったところ、どこの企業でも10倍～20倍も高い答えが返ってきた。従業員は自分の会社の利益を10倍～20倍高く考えている。これを放置しておく、不平不満の元になるので利益分析を正しく教える必要がある」と書いてある。

A氏曰く、「情報を開示していなければ、従業員はそうなるだろう。」「伝える立場の自分が財務について根本的なことを解っていない。教えてもらった参考図書を読んで、もう1度財務戦略のテキストを読み直したい。財務のことを解っていないということを痛感した」。

さらに、A氏は「上に立つ者が、経営の勉強をしないということは罪が重い。勉強しないと、上の者が間違ったことをする。しんどい思いをするのは従業員である。従業員を泣かしたくない。泣かせないためには、経営の勉強をしないといけない。社長になるということは、そういうことなんだ」と言った。

私は「初心忘るべからず」という言葉を思い出した。真の意味は、「学び始めた当時の未熟さや経験を忘れてはならない。その時味わった屈辱や悔しさ、そこを通り抜けた努力を忘れてはいけない」。

人は、知らないことも知っているふりをしたり、知らないことをそのままにすることが多い。A氏の言葉は、心に刺さった。知らないということを素直に認め、学び向上しようとする意思に。我々は、常に「知らない」「解らない」ことに遭遇する。

ちょっと  
気になる出来事

9月17日(日)NHKBSの「クールジャパン」は鉄道編。

外国人が「クール」であるといった中の1つに地下鉄の駅の案内板を取り上げていた。これを見て目的地の駅の乗り換えや階段の位置を把握。待ち時間を無駄にしない。私も地下鉄を利用する。すごく便利である。これはてっきり地下鉄会社が行っているサービスと思っていた。

ところが1人の専業主婦が作ったものだった。地下鉄を使っているとどこに何があるかわからなかった。他の人も不便だろうと考えた。そこで専業主婦は、土日に子供を夫に預け、5ヶ月かけて全ての256駅を調べ上げた。

当初その情報を本にしようとして出版会社74社と当たったが、全く反応がなかった。唯一求人情報誌に載せて20万円の収入となった。その後、地下鉄会社に2年かけて営業し、銀座線で採用となった。それから地下鉄全線に採用となり、今では私鉄各線でも採用されている。そして専業主婦は、情報発信のIT会社を立ち上げ、社長になった。

「ここまでやる」という尋常じゃない行動(情熱)が未来を創った。



一口メモ  
知識

## 企業のコンセプトが変わった

コンピュータという新しい道具によって、企業についてのコンセプトは次のようにとらえることが可能となり、かつ必然となった。

第1に、企業と資源の加工者である。コストを成果に転換する機関である。

第2に、企業とは経済連鎖の環である。コストを管理するには経済連鎖全体を把握しなければならない。

第3に、企業とは富を創出する機関である。

第4に、企業とは物的環境によってつくられる被創造物である。と同時に、物的環境をつくる創造的主体である。

ようやくわれわれは、道具としての情報の使い方のおおよそはわかるようになった。明日の企業のコンセプトについても、かなりのことがわかるようになった。

## P.F.ドラッカー 「チェンジ・リーダーの条件」より

- 「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日 午前10時～12時
- 「戦略社長塾東京」小岩校 毎週水曜日 午前10時～12時
- 「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax 03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

